



BOOM! オーディオステージII TOUR-PAKアンプ取り付けキット

概要

取り付けは販売店に依頼するようお勧めします。

キット番号

76000585

モデル

モデルの備品に関する情報は、最新の純正P&Aカタログをご参照ください。または、最寄りのハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

取り付け要件

このキットを取り付ける際には、次の点に注意してください：

- ・ 「Boom! Audio Stage II Tour-Pakスピーカーキット」(部品番号76000526)を取り付ける前に実施すること。
- ・ フェアリングマウント式の主アンプを取り付けた後で実施すること。

このキットで取り付けるアンプ(部品番号76000277A)は、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店から別途購入する必要があります。

FLHX、FLHXS、FLHXSEの各モデルは、純正(OE)硬質Tour-Pakマウントラックを取り付ける必要があります。適正なパーツ(別途購入)については、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。サービスマニュアルに従って取り付けます。

FLHTKSEモデルおよびFLTRUSEモデルは、スピーカーインターコネクトハーネス(部品番号69200714)とリアスピーカージャンパーハーネス(部品番号69200489)を取り付ける必要があります。適正なパーツ(別途購入)については、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。サービスマニュアルに従って取り付けます。

全モデル:アンプを3台以上取り付けの場合でも、最大で4台構成までは、AUDIOIN3極Y型コネクタ(部品番号69201092)1つと、Battery+3極Y型コネクタ(部品番号70270-04A)1つ以外は不要です。これらのコネクタは他のキットに含まれている場合があります。必要に応じて、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で別途購入してください。

注記

ステージIとステージIIのスピーカーを、同じ車両に混在させないでください。

注記

オーディオシステムを起動する前に、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でラジオのEQを更新する必要があります。先にオーディオシステムを動かすと、すぐにスピーカーが破損してしまいます。(00645d)

Digital Technician® II診断ツールによるRadio EQの更新については、次の点に注意してください：

- ・ スピーカーを取り付ける前に実施するよう推奨します。
- ・ オーディオシステムを起動する前に行う必要があります。
- ・ ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でのみお買い求めいただけます。

▲警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

注記

この取り扱い説明書はサービスマニュアルの記載情報の参照を必要としています。取り付け時には、車両の年/モデルのサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

電氣的過負荷

注記

電気アクセサリを装着しすぎると、車両の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気系統アクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気系統に損傷を与えるおそれがあります。(00211d)

▲警告

電気系統アクセサリを取り付ける場合、影響を受ける回路を保護するヒューズまたは回路ブレーカーの最大アンペア数を超えないよう注意してください。最大アンペア数を超えると、電氣的な不具合が生じ、死亡したり重傷を負う場合があります。(00310a)

このキットで取り付けるアンプは、電気系統から最大8Aの追加電流を供給する必要があります。

キット内容

「図5」および「表1」を参照してください。

準備

▲警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあるため、メインヒューズを外して作業を開始してください。(00251b)

1. サービスマニュアルを参照し、次の手順を実行します：
 - a. シートを取り外します。シート取り付けハードウェアはすべて保管します。
 - b. バッテリー上部からECMキャディを外します。
 - c. バッテリーケーブルを両方取り外します。先にマイナス(-)バッテリーケーブルを外してください。
 - d. バッテリーを取り外す。
 - e. 右サイドカバーを取り外します。
 - f. 左サイドカバーを取り外します。
 - g. 電装キャディを左サイドカバーの下に固定している、2つのボルトを外します。

アンプの取り付け

1. イソプロピルアルコールと蒸留水を1対1で混ぜたもので、Tour-Pak内の最大出力ラベルを汚れを落とします。「図5」を参照してください。キットに付属する新品の最大出力ラベル(2)を、もとのラベルを覆うように貼り付けます。アンプを取り付けることにより、最大負荷が変わることに注意してください。
2. スクリュー(6)で、アンプ(A)にブラケット(4と8)を取り付けます。各スクリューを交互に締め付けます。
トルク：9.5-12.2 N・m (84-108 in-lbs) スクリュー
3. Tour-Pak®からすべてのアイテムを取り外します。Tour-Pakを取り外します。Tour-Pakライナーを取り外します(ある場合)。保護面の上にTour-Pakを置きます。

4. 注記

- ・スピーカーの接続を外します。内部配線を傷めないようにするため、スピーカーをスピーカーポッドから取り外します。
- ・コネクターのワイヤーの位置をメモします。穴開け作業をし易くするため、接続されているコネクタどうしのピンを外します。穴を開ける部分にあるワイヤーは、脇へよけてください。
- ・スピーカーポッドのカバーが破損しないよう、ステップドリルビットを使うよう推奨します。

「図1」を参照してください。新しい穴(3)を各スピーカーポッド(1)に開けます。位置は、既存のグロメット(2)から離れた位置(図に示したおおよその位置)とします。

長さ/寸法/距離：25 mm (1 in)

5. 注記

この穴は、アンプハーネス(図5、アイテム3)の[36TB]、[37TB]の各リード線用です。このリード線は、Boom!オーディオステージII Tour-Pakスピーカーキットを取り付けるときに接続します。

スピーカーハウジングのグロメット穴の周りに、軽くサンドペーパーをかけます。

6. ワイヤーをコネクタから引き戻します。コネクタに再びピンを挿します。

7. 注記

Tour-Pakの前にアンプを取り付けると、Tour-Pakを固定できなくなってしまう。

「図2」を参照してください。六角ナット(1)を、Tour-Pakサポート(5)の六角ポケット(3)に置きます。

8. Tour-Pakを取り付けます。サービスマニュアルを参照してください。スクリューを締め付けます。

トルク：6.8-8.1 N・m (60-72 in-lbs) スクリュー

9. リアフェンダーをタオルで覆います。ブラケットがついたアンプを、側面から滑らせて差し込みます。

10. アンプを取り付けます。フラットワッシャー(7)、ロックワッシャー(8)、スクリュー(6)で固定します。スクリューを締め付けます。

トルク：6.8-8.1 N・m (60-72 in-lbs) スクリュー

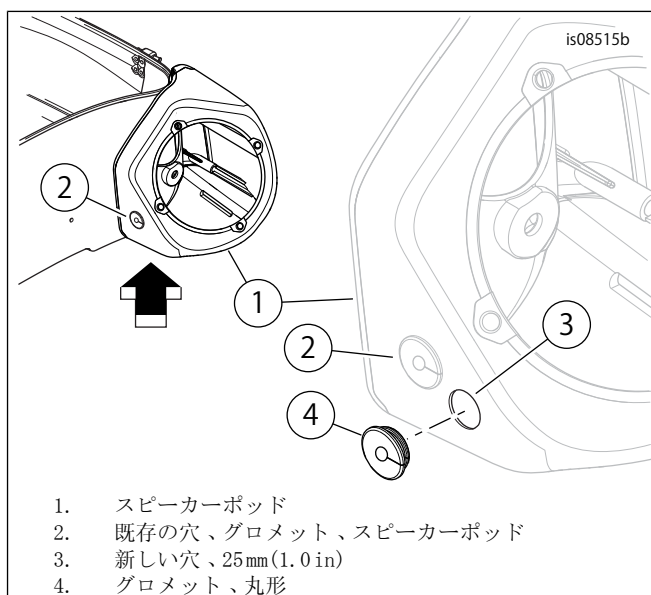


図1。グロメットの取り付け

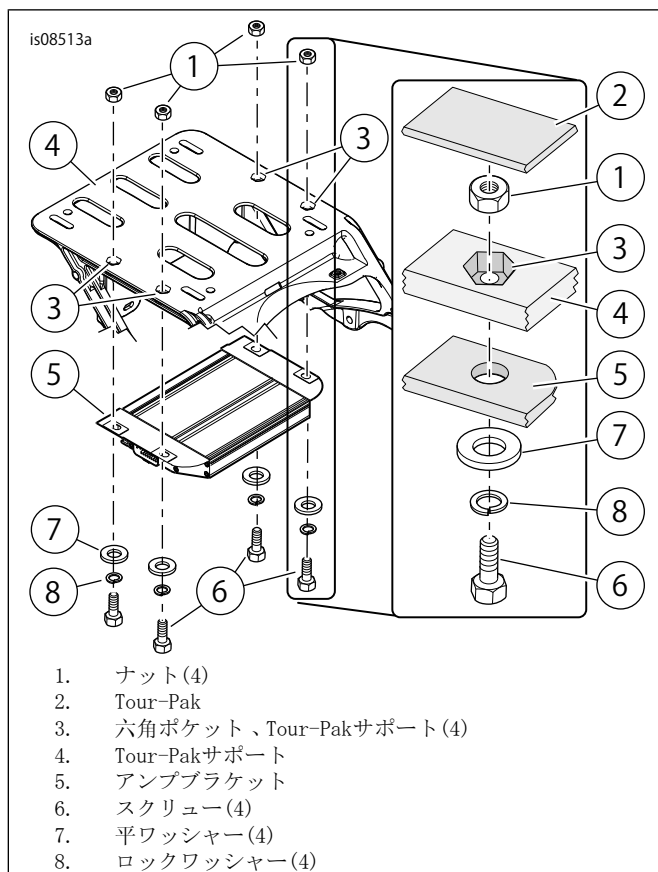


図2. アンプの取り付け

アンプハーネスの取り付け

注記

配線をすべてシートの下にきちんと収納するために、以下のヒントが役立つでしょう(特に2基以上のアンプを取り付ける場合)。

- ・「図4」および「メインアンプ接続図」(図7)を参照してください。まず、大きな23極コネクタ[149](1)から出ているアンプハーネスを車両の前方へ向けて取り回します。大型コネクタは、狭い隙間を通すことができません。
- ・ハーネスの残りを車両の前方に送り、Tour-Pakサポート(3)とフェンダー(4)の間の空間を通します。
- ・ワイヤーハーネスはすべて、フレームレールの下を通して、カバーやシートにはさまれないようにしてください。
- ・Boom! オーディオステージII Tour-Pakスピーカーキットを取り付けるときに、[36TB](右ポッドスピーカー)と[37TB](左ポッドスピーカー)とを接続します。
- ・アンプハーネスブランチはすべて、スパークプラグのワイヤーから離して取り回すよう注意してください。近すぎるとスパークノイズがオーディオシステムに入り込むおそれがあります。
- ・車両の右側から左側にワイヤーを取り回す際には、ハーネスをバッテリー後方のフレームトレイの下に押し込みます。バッテリーコンパートメントに手が届くようにしてください。
- ・6極オーディオコネクタ(黒とピンクのワイヤー)を、右フレームレールの下を通して、右サイドカバー内に取り回します。ABSモジュールがある場合は、そのABSモジュールの前面で束ねます。

- ・黒の4極Molexコネクタ[296A]を、アンダーシート領域の背面近くに置きます。

FLHX/FLTRXモデル: フェアリングからのジャンパーハーネス上。

FLHTCU/FLHTKモデル: 2つの16極コネクタ([162C]、[162D])と、2つの4極コネクタ([296A]、[297B])とを備えたアダプターハーネスの上にあります。

リアにステージIIアンプを1台だけ取り付ける場合: [296A]コネクタのプラグを外してください。アンプハーネスを接続します。

ステージIIアンプをリアに2台以上取り付ける場合: オーディオ入力ハーネスをインターコネクトハーネス(2)のコネクタの両側([296A]と[297B])に接続します。アンプハーネス(3)コネクタ[296A]をオーディオ入力ハーネスに差し込みます。

- ・アンプハーネスコネクタとハーネス取り回しが、可動部品上がないことを確認します。
- ・バッテリーターミナルブランチをバッテリーターミナルに取り回します。ただし、バッテリーケーブルはまだ接続しません。
- ・3つ以上のアンプや他のアクセサリが、バッテリーの接地ポストを既に使っている場合は、いずれかのフレーム接地スタッドを使ってください。
- ・車両に3台以上のアンプを取り付ける場合は、バッテリー+3極Y型コネクタ(別途購入)が1個必要です。
- ・取り回しが終わったら、ケーブルストラップ(10)とリテーナー(1)で固定します。

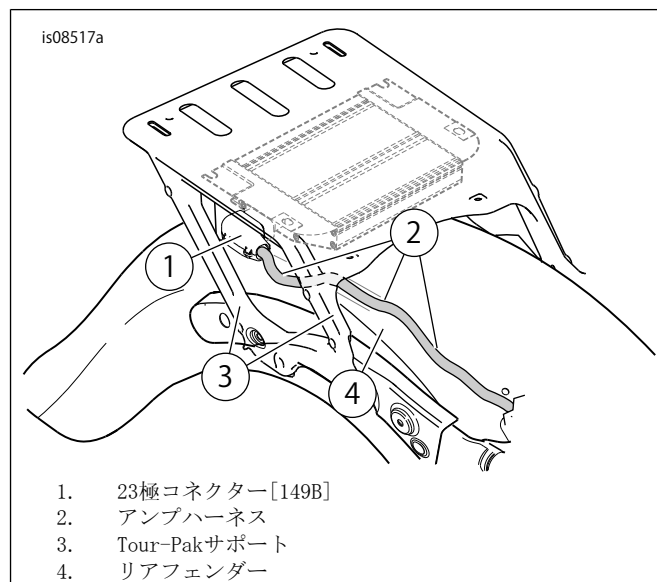


図3. ハーネスの取り回し

データリンクコネクタ(DLC)の配置換え

1. 灰色の6極データリンクコネクタ[91A]を電装キャディ内に置きます。ワイヤーの色とピンの位置をメモしておきます。コネクタのピンを外します。コネクタとラバープラグを取り外します。
2. ワイヤーを、電装キャディを通して、シートの下、キャディの奥に引き戻します。

- 「図4」および「メインアンプ接続図」(図7)を参照してください。プラグテザーをワイヤーの上に取り付けます。コネクターのピンを元どおりにはめます。アンプハーネス(6)のソケットコネクタ[91B]を、シート下のコネクタ[91A]に差し込みます。

注記

アンプハーネスの灰色6極ピンコネクタ[91A]は、電装キャディの標準装備(OE)のコネクタ[91A]に置き換わるものです。

- 新品のピンコネクタ[91A]を、シートの下を通して電装キャディ内に取り回します。
- ラバープラグを、新しいピンコネクタ[91A]に差し込みます。キット付属のケーブルストラップ(10)で、テザーをハーネスに固定します。
- アンプを複数取り付けの場合は、複数のDLCを互いに直列に接続します。

完了

注記

サウンドシステムの損傷を防ぐため、バッテリーケーブルを取り付ける前に、イグニッションスイッチがオフになっていることを確認してください。

▲警告

プラス(+)側のバッテリーケーブルを先に接続します。マイナス(-)ケーブルを接続した状態でプラス(+)ケーブルがアースに接触すると、火花が発生してバッテリーが爆発し、死亡や重傷を負う原因になることがあります。(00068a)

- バッテリーを取り付ける。サービスマニュアルを参照してください。

- サービスマニュアルを参照してください。バッテリーターミナルブランチをバッテリーターミナルに接続します(赤のプラス(+)ケーブルが先)。

- プラス(+)のリングターミナルをプラスバッテリーターミナルに置きます。ボルトを取り付けます。
- インラインヒューズホルダーをアクセスしやすい場所に設置します。
- マイナス(-)のリングターミナルをマイナスバッテリーターミナルに置きます。ボルトを取り付けます。
- 両方のボルトを締め付けます。

トルク: 6.8-7.9 N·m (60-70 in-lbs) 六角ヘッドボルト

- 電装キャディを左サイドカバーの下に、先に取り外した2つのボルトで取り付けます。両方のボルトを締め付けます。

トルク: 8.1-10.8 N·m (72-96 in-lbs) 六角ヘッドボルト

- サービスマニュアルに従ってECMキャディを取り付けます。

- バッテリーターミナルにワセリンまたは腐食防止剤を薄く塗布する。

- サービスマニュアルを参照してください。シートを取り付けます。シートを取り付けたら、シートを上引張って、固定されているか確認します。

- サービスマニュアルを参照してください。メインヒューズを取り付けます。

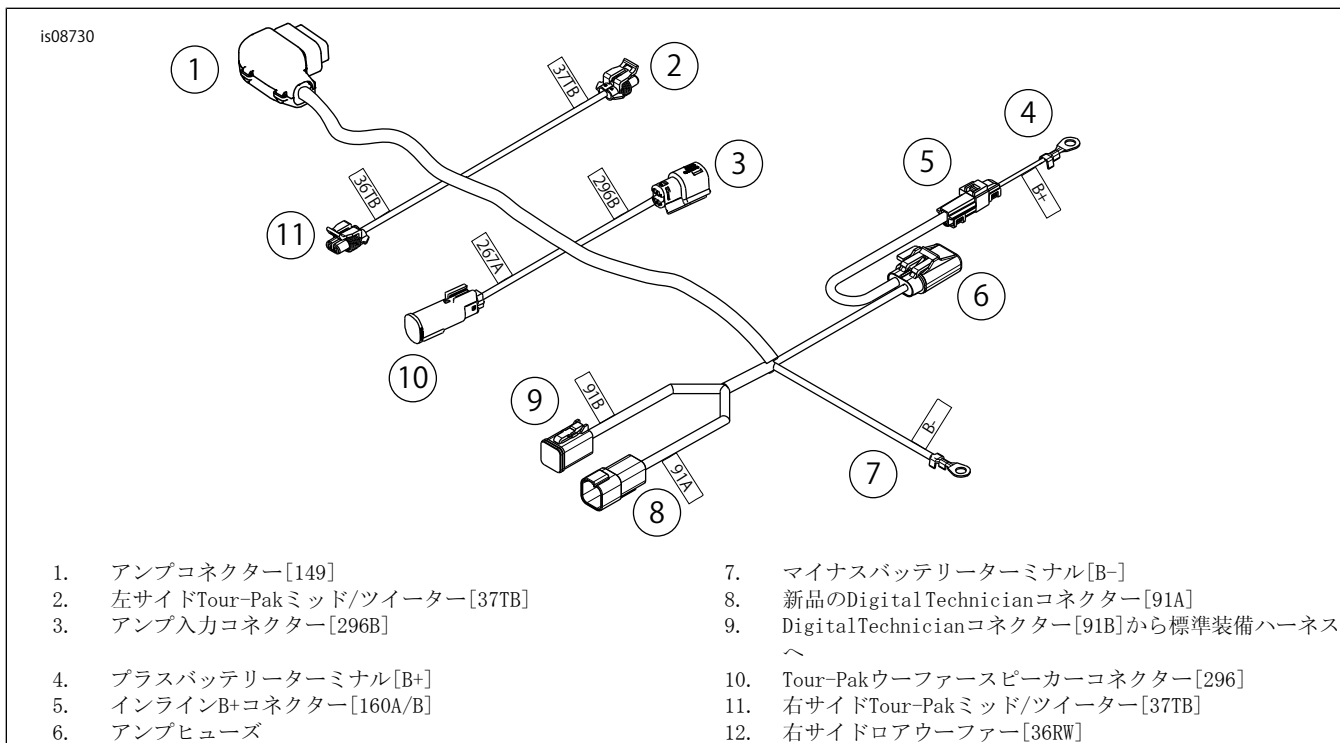


図4. メインアンプハーネス

交換用パーツ

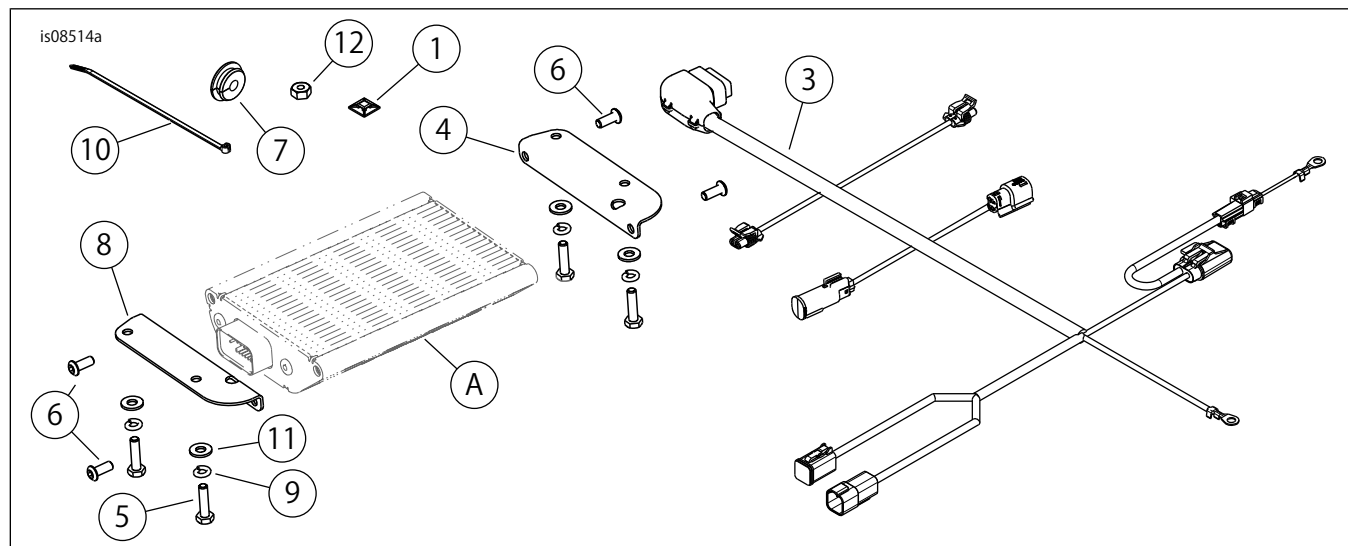


図5。交換用部品、アンブ取り付けキット

表1。交換用パーツ

アイテム	詳細 (数量)	部品番号
1	ブラケット、ワイヤーリテーナー(4)	69200342
2	最大出力ラベル(図には示されていません)	14001001
3	ワイヤーハーネス、Tour-Pakアンブ	別売りなし
4	アンブブラケット	別売りなし
5	キャップスクリュー(4)	2551W
6	スクリュー(4)	926
7	ダイオード、丸形(2)	12100073
8	アンブブラケット	別売りなし
9	ロックワッシャー(4)	7036
10	ケーブルストラップ(6)	10006
11	フラットワッシャー(4)	6703
12	ナット(4)	10100065
本文に記載のアイテムでキットに含まれないもの:		
A	アンブ	

配線図の情報

配線色コード

単色配線の場合: 「コネクタ/配線図の記号(図6)」を参照してください。英文字コードで配線の色を示します。

ストライプ付き配線: コードは実線色付きコードとストライプのコードの間にスラッシュ(/)を入れて記されています。たとえば、GN/Yと記された配線は、黄色のストライプが入った緑の配線になります。

配線図の記号

「コネクタ/配線図の記号(図6)」を参照してください。角カッコ(□)はコネクタ番号を示します。カッコ内の英文字は、ピンハウジングかソケットハウジングかを示します。

A=ピン: コネクタ番号の後の文字Aおよびピン記号(6)はターミナルコネクタのピン側を表します。

B=ソケット: コネクタ番号の後の文字Bおよびソケット記号(5)はターミナルコネクタのソケット側を表します。配線図にあるその他の記号は以下のとおりです:

ダイオード: ダイオード(7)は回路の中で電流を一方のみに流します。

配線の中断: 配線の中断(8)は、オプションによる違いや配線の途中でページが途切れていることを示します。

接続なし(9): 配線図内で2本の線が互いに交差していても、その交点に接合部(ドット)が表示されていない場合は、その2本の線は互いに接続されていません。

別回路(10): この記号は、回路図全体が別ページに続いていることを示します。また、この記号は電流の方向も示しています。

接合部: 接合部(11)は2本以上の配線が配線図上で接続されている場所を示します。図上で接合部が示されている場合、その記載の目的はその回路に配線が接合されていることを示すことのみであり、ワイヤーハーネスの接合位置を示すものではありません。

アース: アース(12)は、クリーンアースとダーティアースとに分類できます。一方は(BK/GN)配線で、通常はセンサーやモジュールに使用されます。

注記

このアースは通常、アース回路に電氣的干渉を引き起こす電気モーターやコイルなどを持ちません。

もう一方のアースは(BK)配線で、電氣的干渉に影響されない構成部品に使用されます。

ツイストペア(13)：この記号は2本のワイヤーがハーネス内でよじってあることを示します。これにより外部から回路への電磁干渉を最小限にしています。これらの配線に修理が必要な場合、配線はよじれたままにしておきます。

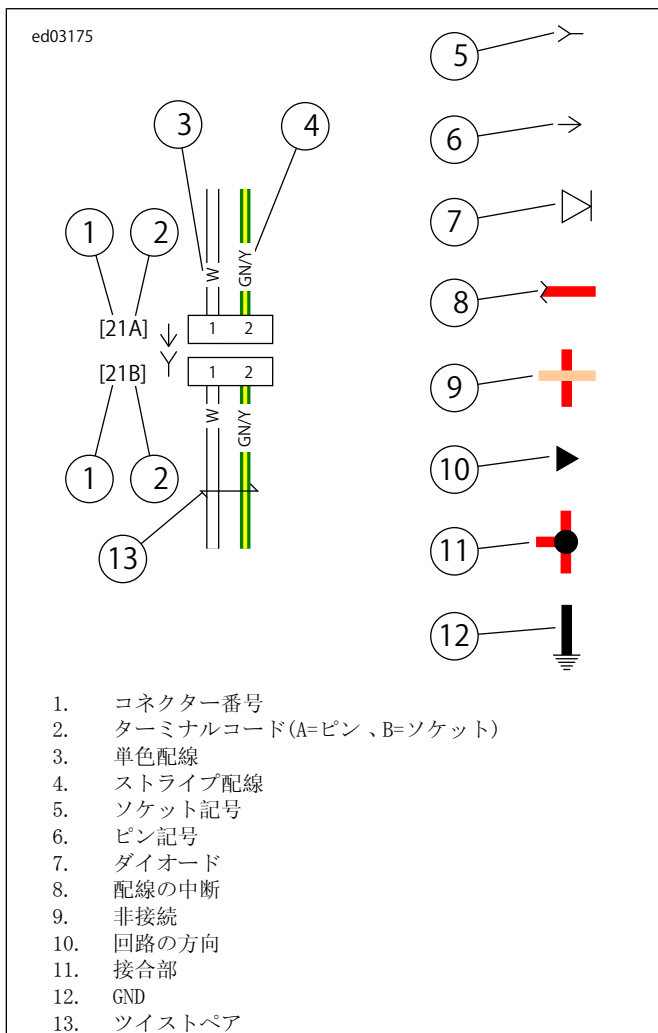
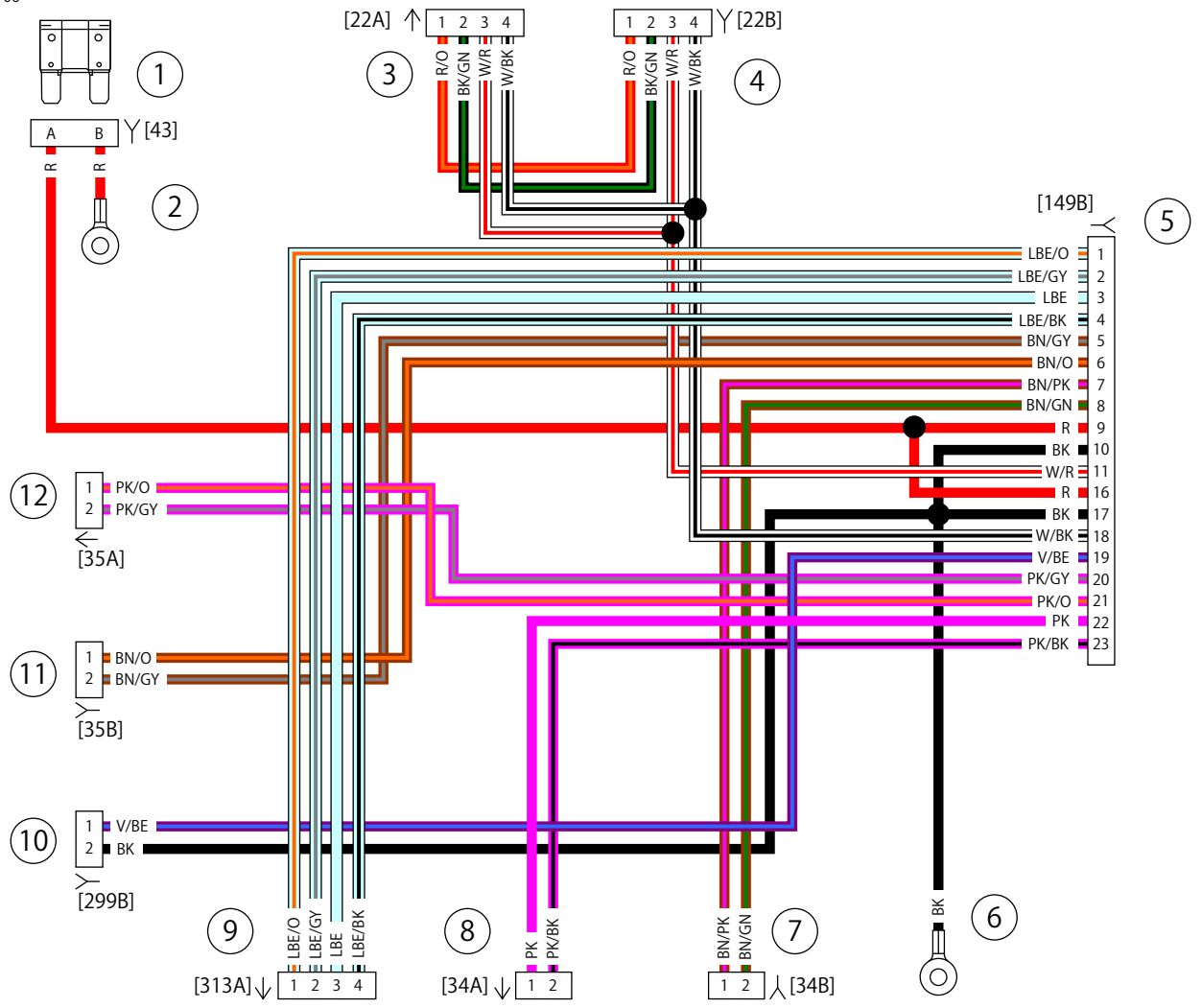


図6。コネクターおよび配線図の記号

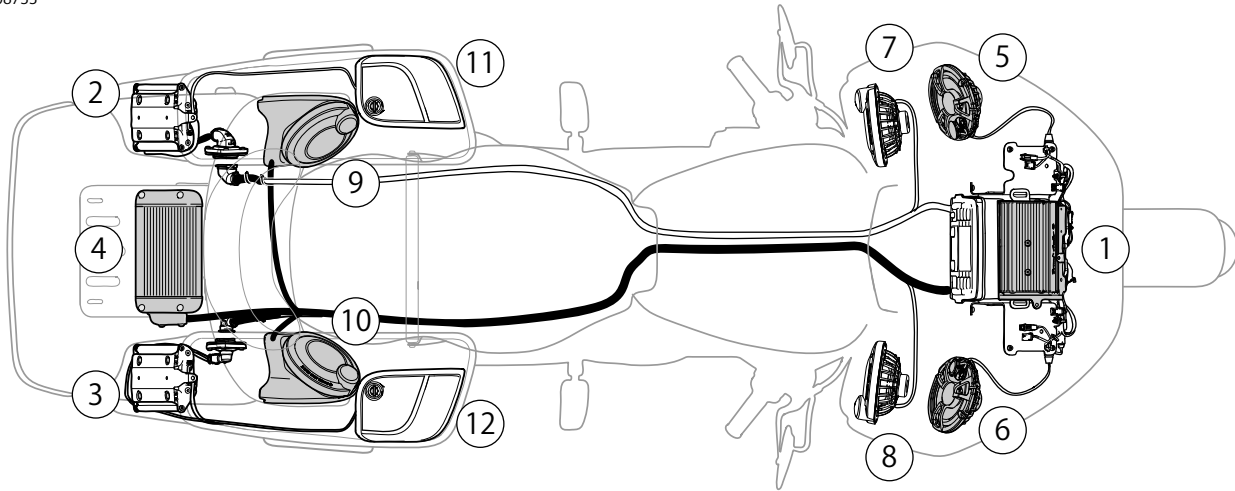
表2。配線色コード

コード	配線色
BE	青
BK	黒
BN	茶
GN	緑
GY	灰
LBE	水色
LGN	薄緑
0	オレンジ
PK	ピンク
R	赤
TN	タン
V	紫
W	白
Y	黄



- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. アンプヒューズ | 7. 右スピーカーのスピーカー出力[34B] |
| 2. プラスリングターミナル[B+] | 8. 右スピーカーのスピーカー入力[34A] |
| 3. 右ハンドコントロール[22A] | 9. 右スピーカー[313A] |
| 4. 右ハンドコントロール[22B] | 10. アクセサリーパワー[299B] |
| 5. フェアリングアンプコネクター[149B] | 11. 左スピーカーのスピーカー出力[35B] |
| 6. マイナスリングターミナル[B-] | 12. 左スピーカーのスピーカー入力[35A] |

図7。メインアンプのワイヤーハーネス(フェアリング)



- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1. アンプ、フェアリング、パワーフェアリングスピーカー、アンプ番号1 (前に取り付けた) | 7. 左ロアスピーカー (取り付け可能) |
| 2. アンプ、左サドルバッグ、パワーサドルバッグスピーカー、アンプNo. 2 (取り付け可能) | 8. 右ロアスピーカー (取り付け可能) |
| 3. アンプ、右サドルバッグ、パワーロアスピーカー、アンプNo. 3 (取り付け可能) | 9. 左Tour-Pakスピーカー (このキットを使用して取り付け) |
| 4. アンプ、Tour-Pak、パワーTour-Pakスピーカー、アンプ番号4 (このキットを使って取り付け) | 10. 右Tour-Pakスピーカー (このキットを使用して取り付け) |
| 5. 左フェアリングスピーカー (以前に取り付けた) | 11. 左サドルバッグスピーカー (取り付け可能) |
| 6. 右フェアリングスピーカー (以前に取り付け) | 12. 右サドルバッグスピーカー (取り付け可能) |

図8。Speaker-Stage II Boom! Audio Tour-Pakアンプ取り付けキット